

本庄特別支援学校の活性化・特色化方針 (平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	児童生徒数	(男)118 (女)78	計 196
ホームページ	http://www.honjo-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	JR 高崎線 本庄駅から武蔵観光バス(寄居行)栗崎バス停下車 徒歩5分 上越新幹線 本庄早稲田駅下車 徒歩15分					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を推進し、キャリア教育の視点を踏まえ、小学部～高等部まで系統性のあるシラバス(育てる力)を活用し、12年間切れ目のない指導支援を行っている。 ・高等部の教育課程を4つに分け、一人一人が持っている力を最大限に活かし、どの子も伸びる教育を実践している。(職業自立型 職業移行型 生活学習型 基礎学習型) ・毎週木曜日(午前:職業移行型)・金曜日(1日:職業自立型)生徒と教員と一緒に地域の企業、施設等に働きに出る、本特版デュアルシステム(就業体験学習)を実施している。 ・全学部1対1を基本とした、自立活動の時間における指導の充実。 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートまつり(文化祭)は各学部の普段の学習の成果を発表する。特に、中・高の作業学習で作った製品販売では、地域の方々にも大好評で、外部からたくさん来校する。 ・高等部の運動部は県内でもトップクラスであり、昨年度は、県特別支援学校2大会(バスケットボール・サッカー)で優勝をし、30年度の春に陸上大会で優勝をした。 ・キックベースボールでは、県代表の選手が在籍している。 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開を年2回開催。 ・近隣学校・施設との交流及び共同学習。(小:制作活動、レクレーション 中:老人ホーム訪問 高:合同部活動の実施) ・学校・家庭・地域の共助体制における協働型の学校づくり(未来を拓く学校づくり推進事業)を進め、平成31年度から県内特別支援学校初の「コミュニティ・スクール」となる。 ・地元企業、官公庁、福祉施設と連携した本特デュアルシステムの実施。 ・地元の各種イベントで高等部作業班製品の販売と学校紹介の実施。 ・学区内の幼児・保護者を対象に、年間10回の就学前早期支援(はーと教室)を行っている。 ・保護者が学校教職員の誰にでも相談できる保護者個別支援(ハート相談)や、保護者同志の悩みを共有し助け合う「ハートミーティングわいわい」を行い保護者子育て支援の充実を図っている。 					
進路について	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部卒業後の進路状況は一般就労が2～3割、福祉的就労が6～7割となっている。 【就業体験学習(本特版デュアルシステム)】 ・1年生から多様な働く場を体験し主体的に進路を選択し決定する力を育てる。 ・本庄デュアルシステム推進連携協議会を組織し、官公庁、企業、商工会議所等と連携し進めている。 【企業就労】特例子会社、製造業(食品、自動車部品)、サービス業(レストラン、スーパー)、老人介護施設等。 【福祉的就労】県北地域・本庄児玉都市の福祉施設に就労 ・小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部へ進学している。 					

(児童生徒数: H30.5.1 現在、進路は H30.3 卒業生の状況)

本校の魅力!

一人一人が持つ能力を最大限に伸ばす教育を実践します

- ・一人一人の障害の特性や教育的ニーズを把握し、本人、保護者、教員で「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、共通理解の下、学習を進めています。
- ・各学部ともに、児童生徒の実態に即した指導体制を組み、一人一人が持つ能力を最大限に伸ばす教育を実践しています。
- ・高等部では、ひと学年を実態に応じて4つに分け、より実態に即した教育を実践しています。また、実際の企業や施設で現場実習や就業体験学習(本特版デュアルシステム)を行い、主体的に進路を決定する力を育てます。

先生から: 「できた」「わかった」を感じられる楽しい授業を展開し、自立に向け全力でサポートします。

生徒から: 「一度学校に見学に来てください! きっとうちの学校で勉強したくなりますよ! 」



県立本庄特別支援学校

～児童生徒の成長物語～

学校ホームページはこちらをクリック



目指す学校像

- 社会的自立を目指し、障害の特性や教育的ニーズに応じた教育を推進する学校
- 地域に信頼される特別支援教育のセンターとしての取組を推進する学校

児童生徒の個々の課題やニーズに応じた指導支援をするために

- ・本人、保護者、職員で作上げる「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」。
- ・外部関係機関と連携した指導支援体制を充実。
- ・外部専門家による専門的な指導支援と保護者に対するアドバイス。
- ・全児童生徒にアセスメントを実施し、根拠のある指導支援。「太田ステージ」「NC-プログラム」「職業教育総合評価表」等
- ・特別な支援を要する児童生徒の改善のために迅速なケース会、カンファレンスの実施。

特色1

シラバスを活用した系統性のある指導支援の充実

キャリア教育の視点を踏まえた系統性のある「本校独自のシラバス」を作成・活用し、各学部段階における育てる力を明確にし、教育指針・目標としています。

特色2

自立活動の時間における指導の充実

お客様の自立に向けて、障害による学習上、生活上の困難を克服するために、必要な、知識・技能・態度を身につけ、心身共に健やかに成長する土台を身につけます。

特色3

高等部教育課程の複数化

高等部では教育課程を4つに編成し、生徒一人一人が持っている能力を最大限に伸ばし、**障害の状況に、より即した教育**を実践しています。

「職業自立型」「職業移行型」「基礎学習型」「生活学習型」

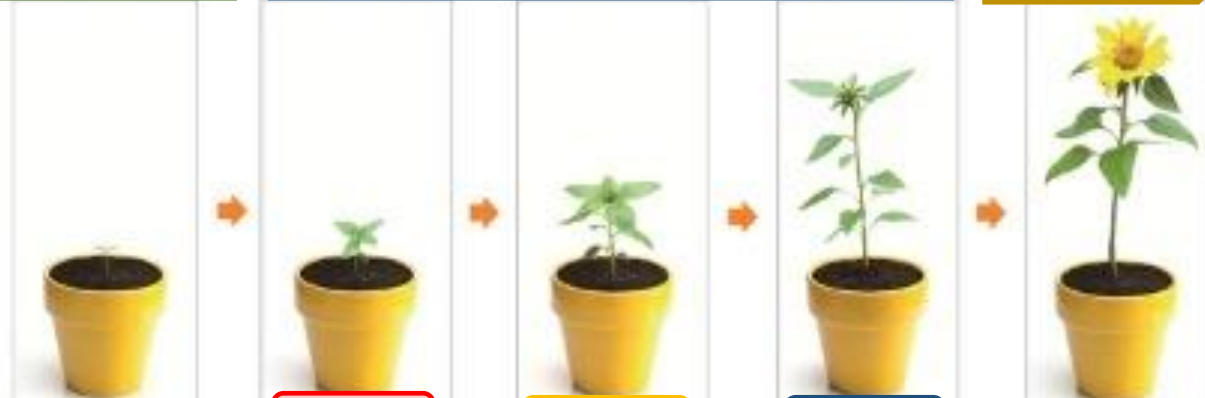
各学部の教育はこちら

特色4

入学前からサポート

各発達段階に応じた12年間「切れ目のない」指導・支援

卒業後もサポート



就学前

小学部

中学部

高等部

卒業後

学び合い、高め合い助け合うチーム本庄 教員集団

- ・教員の指導支援の足並みをそろえる「本庄スタンダード研修」障害特性の理解と支援方法・自立活動キャリア教育・個別の支援計画・指導計画
- ・お互いの授業を見合い、体験する「学部内・外見学、他学部体験授業」
- ・実践を報告、みんなで検討する「事例研修会・授業研究」
- ・校内職員の講師、作成による「充実した自主研修・教材展の開催」夏季自主研修 各教科自主研修 タブレット研修会 教材教具展
- ・全教員が得意分野を登録し、個々が持つ専門性を有効に活かす「人材バンクの活用」
- ・学校間で学び合う「専門研修・相乗り研修」
- ・常に先を見据えた学校づくりを目指す「先進校視察」等

特色7

学区内の就学前幼児・保護者を対象に**早期支援（ハート教室）**を実施しています。「ハート教室」を年10回開催。

就学前からサポートします。

小学部低学年 日常生活に関わる基礎的な力を育てます。

小学部高学年 生活に関わる力を育てるとともに、集団への適応に必要な力を育てます。

小学部で学んだ基礎的な力を生活に活用していく力を育て、社会性、認知、コミュニケーションの力を育てます。将来に備え作業学習を通して働く力を育てます。

将来の自立と社会参加に向け、社会性、認知、コミュニケーション能力を中心に高めます。働くために必要な力を、学校・現場実習・就業体験学習で身につけます。教育課程の複数化により、一人一人の持つ能力を最大限に伸ばします。

就職先に訪問し、指導支援を行い、卒業後も見守ります。

生活支援センターと連携し、仕事を含めた生活支援を行います。

特色5

学校・家庭・地域との連携

学校との連携
【小】近隣小学校との交流及び合同学習【小中】支援籍学習【高】近隣高校と合同部活動 等
家庭との連携
「ハート相談」、「ハートミーティングわいわい」等の保護者子育て支援の充実 等
地域との連携
地元企業、官公庁等と連携した、就業体験学習（本特版デュアルシステム）の実施 地域の教育力を活かした「未来を拓く学校づくり」の推進

特色6

高等部 運動部の活躍

本校の運動部の実績は**県内でもトップクラス**です。特別支援学校の3大会（陸上・サッカー・バスケットボール）では、毎年すべての競技において3位以上に入賞しています。陸上競技では、世界大会出場候補選手もいます。入部している生徒のほとんどが初めは運動が苦手でしたが、毎日の積み重ねで運動が好きになっています。

児童生徒の障害の特性や教育的ニーズに応じた教育を推進し、一人一人が持つ能力を最大限に伸ばす教育を実践します。